

令和5年度（第61回）埼玉県硬筆展覧会参考手本揮毫語句

小1

うめ さくら ふじ

小2

くまの 子どもが 目を さましました。
白く まぶしい 光が やさしく ふりそそぎました。

小3

六月十三日（火）
明日はプール開き。とても楽しみです。
たくさん練習して泳げるようになることが目ひょうです。

小4

どうしてアリは
働き続けるのかな
いつ見てもいそがしそうに
仕事をしている
力を合わせて
大きな虫を動かすよ

小5

学校の図書館には、本の貸し出しの他に「学習・情報センター」としての役わりもあります。
さまざまな資料を活用して、授業で学んだことをさらに調べてみましょう。

小6

古来、わが国の農業は、水田での米づくりを中心に発展してきました。
水田はわが国の気候風土に適しているばかりでなく、土の中に養分をためて連作を可能にしました。水をたくわえる役割も果たし、たくさんのすぐれた点を持っています。

中 1

拝啓

校庭のひまわりが咲き始める季節となりました。先生におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、九月六日に市民会館で地域の交流会が行われます。私たち書道部も硬筆作品を出品します。ご都合がよろしければ、ぜひ見に来てください。

末筆になりますが、夏風邪には十分に気をつけてください。

敬具

中 2

秩父地方は、雄大な山脈から流れ出る荒川と、広大な盆地が広がる。河岸段丘が見られ、近くには武甲山がそびえる。1998年に雁坂トンネルの工事が終わり、埼玉から山梨へ一気に通り抜けられるようになった。

栃本関所や滝沢ダムなどに寄り道しながら、大自然を眺めるハイキングはすばらしい。

秩父が見せる四季折々の風景を楽しんでほしい。

中 3

——人生とは選択の連続である——

「ロミオとジュリエット」で有名なシェイクスピアが残した言葉である。

今年は進路選択がある。

そのためには何をすべきか。親や先生、先輩などに意見を聞いて参考にすることは必要だ。

しかし、それ以上に大切なことは自分で決断することだと思う。進路についてよく考えて、迷いのない決断ができるようにしたい。

高 1

その次には猿の顔が出た。それが西洋の昔の学者か豪傑かの顔と変った。その顔は少し横向きで柔かな髪は肩まで垂れて居る。極めて優しい顔であるがただ見たように思うだけで誰の肖像か分らぬ。それからしばらくは火が輝いで居るばかりで何の形も現れて来ぬ。なお見つめて居ると火の真中に極めて明るい一点が見えて来た。それが次第に大きくなっていく。ついに一つの大目玉が成り立った。それが崩れるとまたしばらく何も出来ずに居たが、ようよう丸髻の女が現れた。

高 2・3

茗荷谷の坂の中途に当たる位な所に赤い鮮かな火が見える。前から見えていたのか顔をあげる途端に見えだしたのか判然しないが、とにかく雨を透してよく見える。あるいは屋敷の門口に立ててある瓦斯燈ではないかと思って見ていると、その火がゆらりゆらりと盆燈籠の秋風に揺られる具合に動いた。一瓦斯燈ではない。何だろうと見ていると今度はその火が雨と闇の中を波のように縫って上から下へ動いて来る。——これは提灯の火に相違ないと漸く判断した時それが不意と消えてしまう。